

アキラルックス®点滴静注と レーザ光照射による 治療を受ける患者さんへ

光線過敏症について



監修

花井 信広 先生

愛知県がんセンター 副院長 兼 頭頸部外科部長

この冊子は、アキラルックス®点滴静注とレーザ光照射による治療を受ける患者さんあるいはそのご家族に、特に注意すべき副作用である「光線過敏症」について知っていただくためのものです。

お手元に保管して、いつでも確認できるようにしておきましょう。

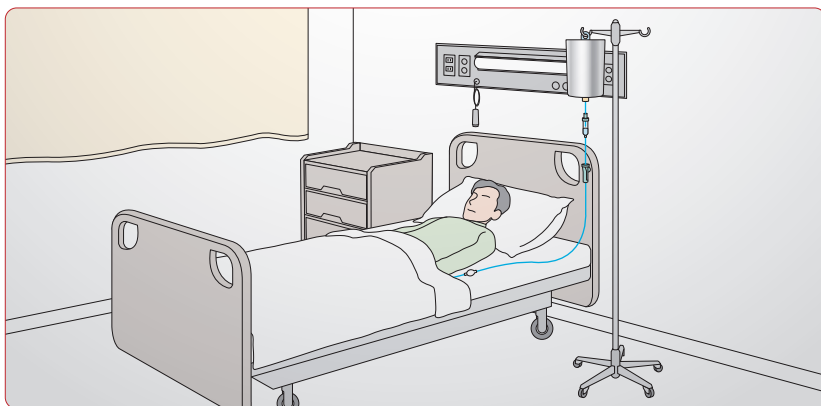
ご不明な点がございましたら、主治医、看護師、薬剤師にご相談ください。

治療の流れ

アキシャルックス®とレーザー光照射による治療は、①アキシャルックス®を点滴で投与して、がん細胞の表面に多くあられるタンパク質に結合させ、②レーザー光を当ててアキシャルックス®を反応させることでがん細胞を死滅させる、という二段階で各1日ずつ2日間行われます。

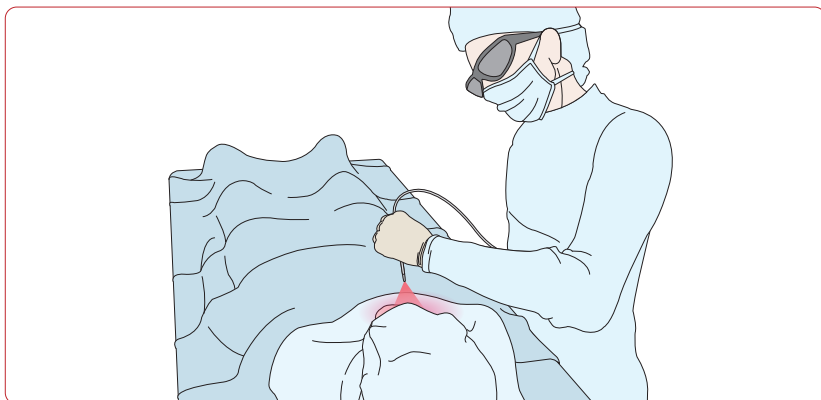
第一段階(1日目) アキシャルックス®投与

- アキシャルックス®を2時間以上かけて点滴で投与します。



第二段階(2日目) レーザ光照射

- アキシャルックス®を投与した20～28時間後にレーザー光を照射します。

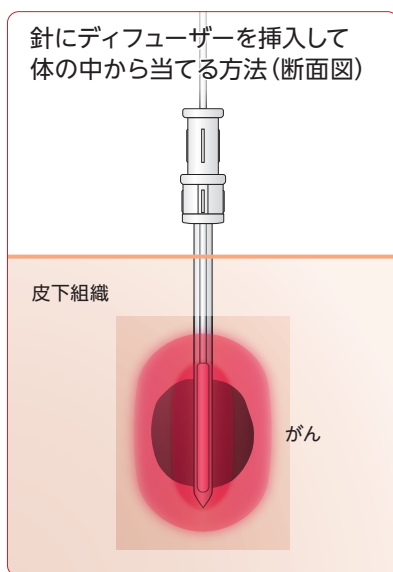
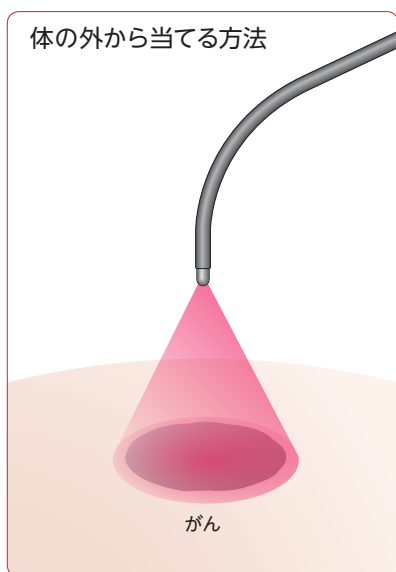


光照射による治療

レーザー光照射について

使用するレーザー光は医療機器から供給され、ディフューザーと呼ばれる光ファイバーから放出されます。

レーザー光は2種類の方法で当てられます。一つはがんの表面の部分に、ディフューザーで体の外から当てる方法です。もう一つは皮下組織（体の中）にあるがんを針で刺し、そこにディフューザーを挿入して体の中から当てる方法です。



がんの部位や大きさによって、どちらか片方の方法で治療する場合と、両方の方法で行う場合があります。

2 注意すべき副作用：光線過敏症

光線過敏症

アキラルックス®には光に反応する色素が入っています。そのため、強い光が皮膚や眼に当たると、皮膚が赤くなったり、皮膚や眼に痛みが起こったりする可能性があります。時には肌に刺すような痛みや灼熱感(焼け付くような熱い感覚)があらわれる可能性があります。

光線過敏症を予防するために、アキラルックス®投与中および投与後の一定期間は光に当たらないようにする必要があります。

治療中および治療後の時期に応じた光線過敏症を防ぐ方法を記載していますので、ご一読いただき、光に当たらないように注意してください。



アキラルックス®投与日(治療中)

- アキラルックス®は2時間以上かけて点滴で投与されます。
- アキラルックス®を投与する部屋では、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が入らないようにします。投与中は屋外や廊下からも自然光が入らないようにします。



アキシャルックス®投与後(治療後)

患者さんに気を付けていただきたいこと

- 皮膚や眼に強い光や直射日光が当たらないようにしてください。
 - 外出はなるべく避け、基本的に室内で過ごすようにしてください。
その際は、室内照明は照度を可能な限り小さくし、読書灯などの強い光の出るものは使用しないように注意してください。
 - 院内の移動や外出が必要な場合は、帽子、スカーフ類、サングラス、長袖、長ズボン、手袋、靴下などを着用し、肌が露出しないようにしてください。
- ※ 紫外線の日焼け止めを肌に塗っても効果はありませんので、衣服で肌をカバーしてください。

衣類等の着用例

- 頭、首、鼻、耳を覆うことのできる広いつばの帽子
- 頭や首を覆うスカーフ
- 目と目の周囲の皮膚を隠すサングラス
- 上半身と腕を覆う長袖の衣類
- 下半身と脚を覆う長ズボン(スカートとタイツ)
- 手袋
- 靴下
- 足の甲を覆う靴



※ 衣類は、ごく薄手の生地や目の粗い生地では強い光からの保護にならないため、暗い色で目の詰まった素材がのぞましいです。

- アキシャルックス®投与後4週間は直射日光が当たらないようにしてください。
- 4週間経過した後も、当面は日光浴など強い光に当たるのを避け、徐々に通常の光に慣れるようにしてください。(6ページ・Q&AのQ1をご参照ください)
- 明るい光に当たりすぎ、痛みや灼熱感があらわれたら、すぐに光から離れてください。肌が赤くなったり腫れたりした場合は、主治医、看護師、薬剤師に連絡してください。
- 7日目以降に直射日光に当たる可能性がある(あるいは希望する)場合は、照射テストをした上で可能になることがありますので、主治医にご相談ください。

Q1 退院後の日常生活で気を付けることはありますか。

A1

治療後2カ月間は次のような注意が必要です。

①治療後1カ月まで

外科手術や内視鏡検査、歯科治療は控えることが望ましいので、このような場合は主治医に相談してください。

②治療後2カ月まで

強い光を使用する眼科検査は控えてください。強い光を使用する眼科検査を予定している場合は、あらかじめ主治医に相談してください。

Q2 パソコンやテレビなどの電子媒体は使用できますか。

A2

パソコンやテレビはアキシャルックス®を投与した日から使用できます。ただし、パソコンやテレビのリモコンなどを操作する際は、室内の明るさは可能な限り小さくし、読書灯などの強い光の出るものは使用しないように注意してください(付き添いのご家族も注意してください)。

Q3 暖房器具は使用できますか。

A3

アキラルックス®投与後4週間は赤色の光を発する暖房器具(赤外線ヒーター、赤外線ストーブ、こたつ等)のご使用は避けてください。赤色の光を発しない暖房器具はご使用いただけます。

次のような場合は 主治医、看護師、薬剤師に連絡を

- 強い光に当たって、皮膚が赤くなったり、皮膚や眼が痛くなったりした場合
- 治療後1カ月以内に外科手術や内視鏡検査、歯科治療を受ける場合
- 治療後2カ月以内に強い光を使用する眼科検査を受ける場合

緊急連絡先記入欄